

「公共施設に関するアンケート」について

公共施設の使い方検討の基礎資料とするため、「公共施設の未来を考えるワークショップ」参加意向確認時にアンケートを実施。

1 実施期間 令和5年10月3日（火）～10月30日（月）

2 対象者 モデル地域4地域（川崎区、幸区、高津区、麻生区）に居住する15歳以上（令和5年4月1日時点）の市民
各地域、無作為抽出にて抽出した1,500名を対象とし、アンケートを郵送

3 回答数 対象者は、アンケート用紙の返送、またはWEBフォームによる回答のいずれかの形により回答

（1）川崎区 181名（回答率12.1%） （2）幸区 215名（回答率14.3%）

（3）高津区 213名（回答率14.2%） （4）麻生区 250名（回答率16.7%）

4 主な設問

（1）地域にある本市の施設（※）をどの程度・どの時間帯に・どのような目的で利用していたか（※アンケート上で具体的に提示）

（2）地域にある本市の施設以外で、普段よく行く場所、その場所での過ごし方

（3）（4（1）で施設を一つでも半年～1年に1回程度、または1度も利用していない回答した方に対しての設問）

施設をほとんど利用していない・または利用しない理由、利用していない施設でこういふことができるなら使いたいということ

※アンケート用紙（川崎区の例）

以下の（4）～（6）の設問は、（1）の設問の設問で「利便性度」で「半歩～1歩に1回程度」または「1度も利用していない」に1つでも□をつけた方がお答え下さい。

（4）上記の□をついた箇目の中で、過去1年間のうちに、「もっと頼んだかった施設」はありますか。
①ある ②ない

（5）施設をほとんど利用していない、または利用しない理由を教えてください。（複数回答可）
①生活上利用する機会がない ②施設の利便性度を利用している ③場所が近くにある
④施設がどこにあるから知らない ⑤有料である ⑥利用できる年代に制限がある
⑦どんな施設がわからない ⑧固体でないと利用できない
⑨施設や駅前に使いたいが便利でない ⑩料金が高いでない
⑪システム上、予約をしたい ⑫施設に魅力がない
⑬その他（記述：）

（6）利用していない施設でこういうことができるなら使いたい、ということがあれば教えてください。（複数回答可）
①手続き・窓口業務や暮らしの相談を受けられる ②講座や教室の開催・参加など
③一人でゆっくり過ごす・読書 ④子連れで過ごす ⑤仕事・勉強（就業・調べもの）
⑥会議・集会 ⑦交流（友人会う・普段等）、即ち会うことで、小規模なパーティ等
⑧飲食 ⑨発表会・パフォーマンス・展示会等のイベントの開催
⑩ダンス・音楽等の練習場所 ⑪ものづくり（手仕事・工作・DIYなど）、アトリエなど作業場所
⑫スポーツ観戦・運動 ⑬避難場所 ⑭施設（マルシェ等）（オンラインでの打合せ）
⑮その他（記述：）
⑯特になし

■ 公共施設に関する本市へのご意見がありましたらお聞かせください。（自由記入）

質問は以上となります。ご協力いただき、大変ありがとうございました。
こちらの用紙に回答された方は、封筒の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。**令和5年10月30日（月）**（印用有効）

「地域の公共施設の未来を考えるワークショップ」参加意向確認
公共施設に関するアンケート **川崎区**

この調査票についてとりまとめた結果は、川崎市の公共施設のより良い使い方について検討するための資料として活用して顶けます。

ワークショップの目的や趣旨と目的、アンケートの目的など詳しく説明は、お手数ですが該当の項目を記入ください。ワークショップの参加の可否に関わらず、アンケートのご協力につきまして、どうぞよろしくお願いいたします。

回答は、令和5年10月30日（月）までに、下記のどちらかの方法でお届け下さい。

①この用紙に記入いただき、同時に返信用封筒に入れて返送下さい（手写入力）

②記載の二次元コードを読み込み、オンラインフォームから回答する。

突然の地震に備えて避難入りします。避匿先を迷ったとき、ご協力をお願いいたします。

また、この用紙は、このワークショップや公共施設の使い方の基本情報

として、改めて活用される予定です。ご了承下さい。

※ご記入いただいた上、ご不適なご意見がございましたら、ご相談の際は各自に

お問い合わせくださいませ。

※ご記入いただいた上、ご不適なご意見がございましたら、ご相談の際は各自に

お問い合わせくださいませ。

■ 施設の利用状況についてお聞きします。

（1）あなたは、過去1年間に本市の施設を「どの程度」利用していましたか。また、主に「どの時間帯」利用していましたか。以下の（※）に該当するものに1つ選び。

○選択してください。

市川市公民館訪問会員（令和3（2021）年度版）を参照して下さい。また、下記表内の各

設問の（）内は、今回のワークショップの対象となる地域別の施設を記載しています。

■ 施設一覧

施設一覧（川崎区）

市民活動（川崎区役所、川崎市行政サービスセンター、川崎市総合文化会館、川崎市総合体育館）

団体会員（川崎市立図書館、川崎市立図書館、川崎市立図書館、川崎市立図書館、川崎市立図書館）

こどもセンター（川崎市立こどもセンター、川崎市立こどもセンター、川崎市立こどもセンター、川崎市立こどもセンター、川崎市立こどもセンター）

老人福祉センター（川崎市立老人福祉センター、川崎市立老人福祉センター、川崎市立老人福祉センター、川崎市立老人福祉センター、川崎市立老人福祉センター）

体育館（川崎市立体育館、川崎市立体育館、川崎市立体育館、川崎市立体育館、川崎市立体育館）

体育館（川崎市立体育館、川崎市立体育館、川崎市立体育館、川崎市立体育館、川崎市立体育館）

その他（記述：）

活動（死者）

スポーツ（競技、運動）

利用していない

その他の（他の施設の利用に影響しない）

ここに1つでも「□」に記入して下さい

※1：調査やお祭りの開催・参加など（空白を除く）

※2：イベントやワークショップの開催・参加・発表会・パフォーマンス・演奏・展示会などの開催・実施

※3：「運動」全体で、該当するものの□に1つづけて下さい

※4：「その他の（他の施設の利用に影響しない）」に記入して下さい

以下に続く設問は、該当するものに□をつけてください。

（2）（1）で記入した本市の施設以外で、誰が、よく行く場所などですか？（複数回答可）

①カフェ

②ワークスペース（コワーキング・シェアオフィスなど）

③販売店

④スポーツ（競技・運動）

⑤スキー（スキー・スノーボードなど）

⑥マジソン（キッズルーム・多目的室等）

⑦その他（記述：）

（3）（2）の場所で、どのように過ごされていますか？（複数回答可）

①学生（授業や教科の商量・担任など（空白を除く））

②1人または子供達で過ごす（子連れで過ごす・読書・仕事・育児など）

③友人達で過ごす（団体・個人）

④活動・発表（イベント・ワークショップの開催・参加・発表会・パフォーマンス・演奏・展示会の開催・実施・開催）

⑤スポーツ（競技・運動）

⑥利用していない

⑦その他（記述：）

→次ページへ進む

「公共施設に関するアンケート」について

5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

○P1の4(2)及び(3)について、4区共通の設問であることから、**4区合計と区ごとの状況を把握。**

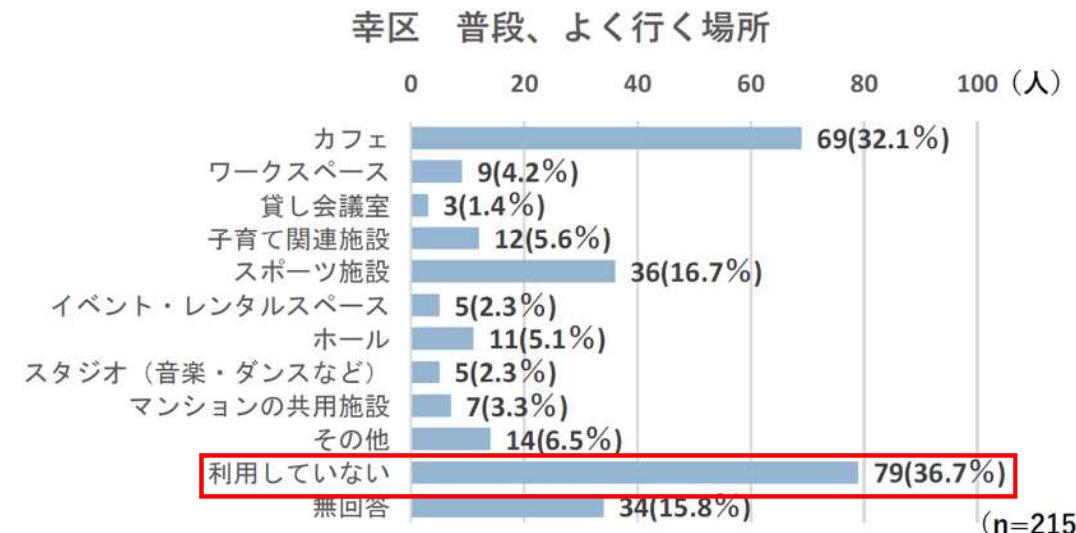
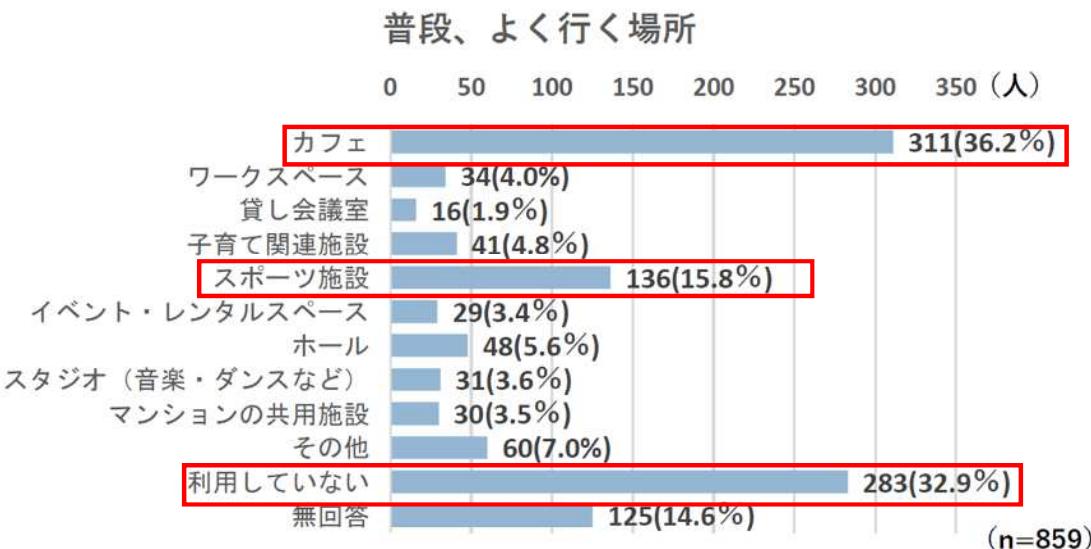
○P1の4(3)については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、**年代別の状況も把握。**

【地域にある本市の施設以外で、普段よく行く場所】(P1の4(2))

○4区合計では、「カフェ」が最も多く、2番目が「利用していない」、3番目が「スポーツ施設」。

○区ごとでは、幸区は「利用していない」が最多。

川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計



「公共施設に関するアンケート」について

5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

○P1の4（2）及び（3）について、4区共通の設問であることから、**4区合計と区ごとの状況を把握。**

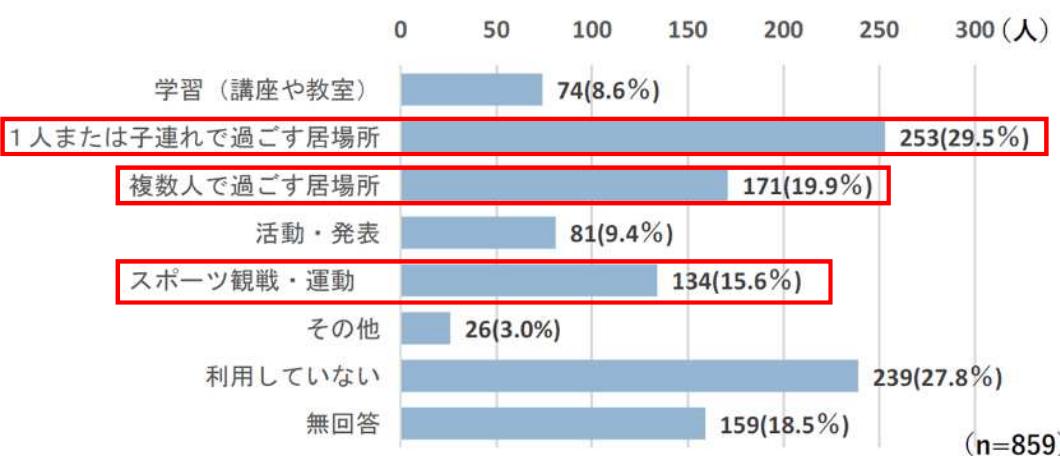
○P1の4（3）については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、**年代別の状況も把握。**

【「地域にある公共施設以外で、普段よく行く場所」での過ごし方】(P1の4(2))

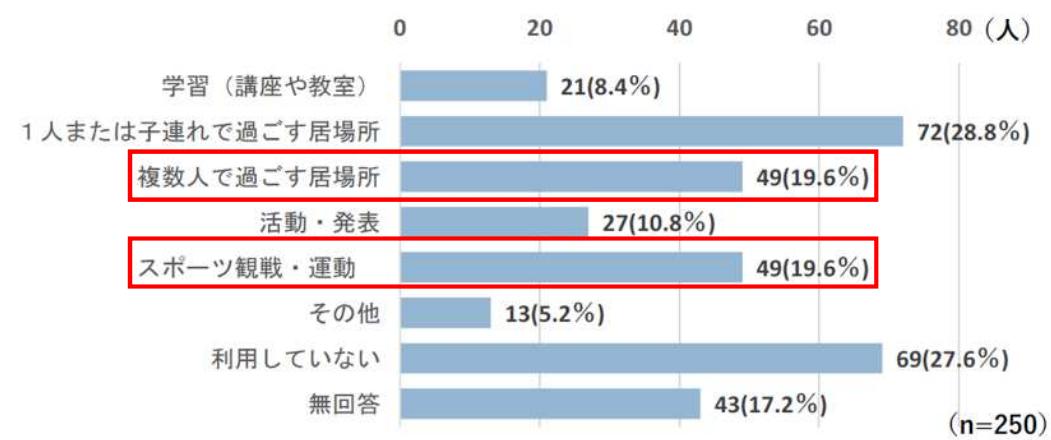
- 「利用していない」を除くと、4区合計では「1人または子連れで過ごす場所」が最も多く、2番目が「複数人で過ごす場所」、3番目が「スポーツ観戦・運動」。
- 区ごとでは、麻生区は「複数人で過ごす場所」と「スポーツ観戦・運動」が同数。

川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計

よく行く場所での過ごし方



麻生区 よく行く場所での過ごし方



「公共施設に関するアンケート」について

5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

○P1の4(2)及び(3)について、4区共通の設問であることから、**4区合計と区ごとの状況を把握。**

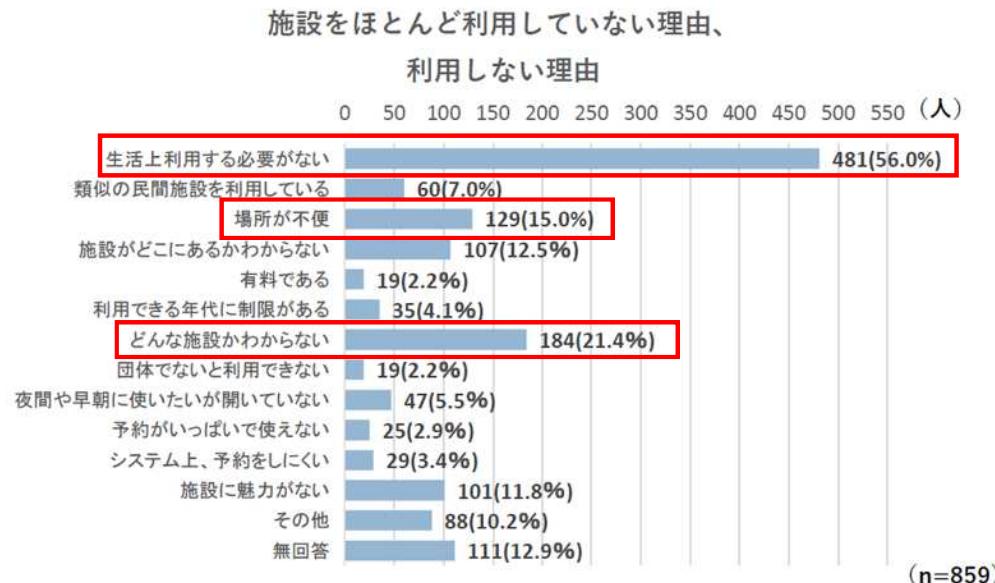
○P1の4(3)については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、**年代別の状況も把握。**

【施設をほとんど利用していない・または利用しない理由】(P1の4(3))

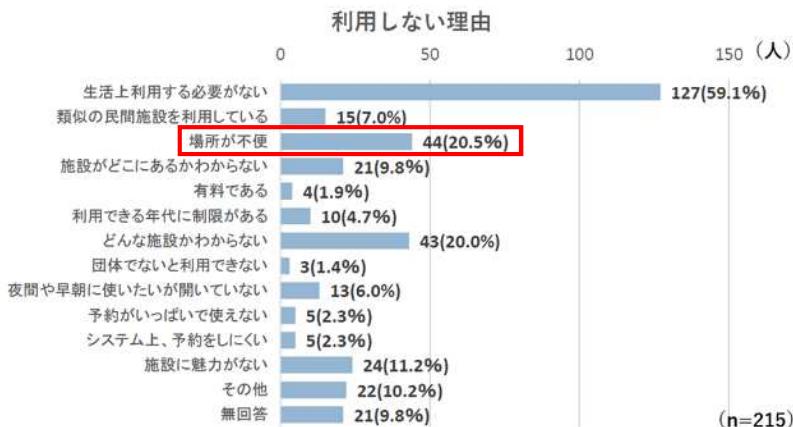
(全年代の状況)

- 4区合計では「生活上利用する必要がない」は過半数、2番目が「どんな施設がわからない」、3番目が「場所が不便」。
- 区ごとでは、幸区は「場所が不便」が2番目、麻生区は「施設に魅力がない」と「場所が不便」が同数で3番目。

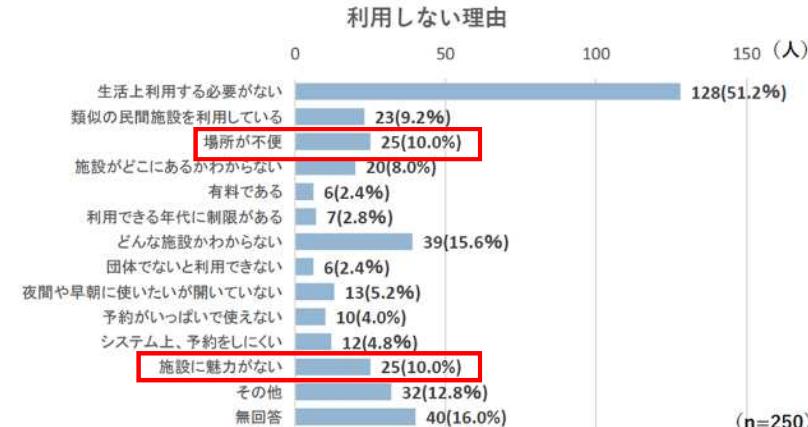
川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計



幸区 施設をほとんど利用していない理由、



麻生区 施設をほとんど利用していない理由、



「公共施設に関するアンケート」について

5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

○P1の4(2)及び(3)について、4区共通の設問であることから、**4区合計と区ごとの状況を把握。**

○P1の4(3)については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、**年代別の状況も把握。**

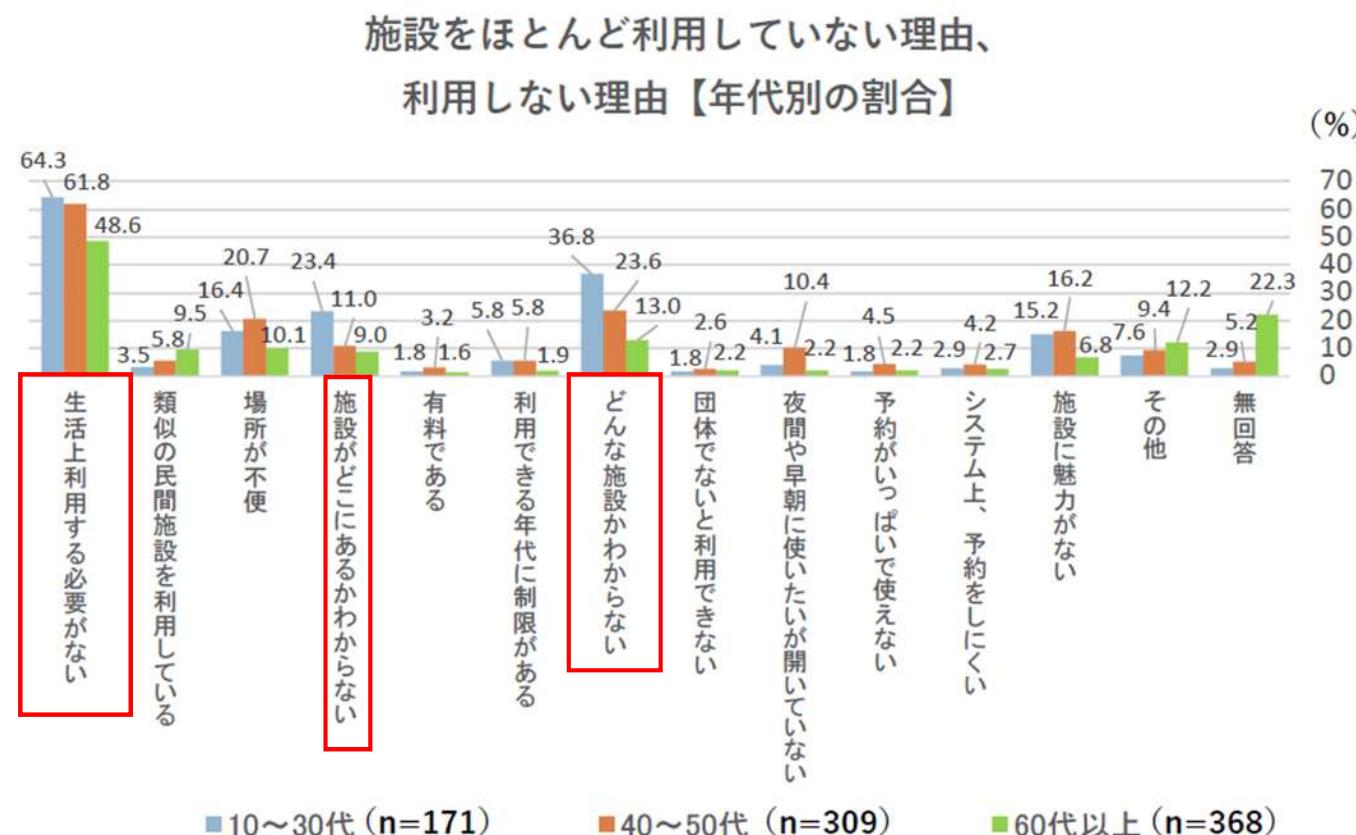
【施設をほとんど利用していない・または利用しない理由】(P1の4(3))

(年代別の状況) ※4区合計

○「生活上利用する必要がない」「施設がどこにあるかわからない」「どんな施設かわからない」の割合は、年代が下がるほど高くなっている。

○10~30代では、「施設がどこにあるかわからない」が「場所が不便」を上回り3番目に大きい。

川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計【年代別の割合】



「公共施設に関するアンケート」について

5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

○P1の4(2)及び(3)について、4区共通の設問であることから、**4区合計と区ごとの状況を把握。**

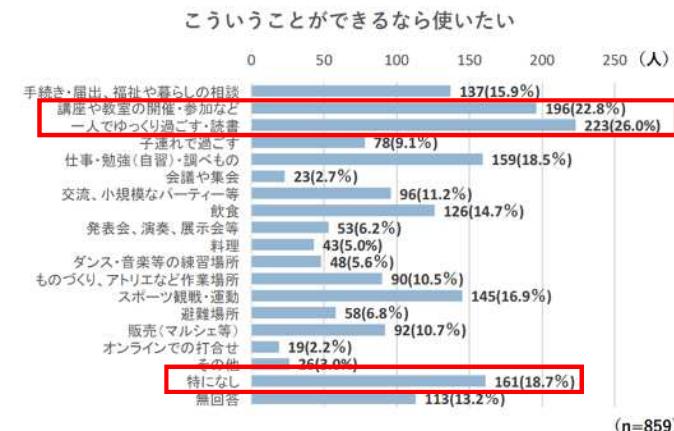
○P1の4(3)については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、**年代別の状況も把握。**

【利用していない施設でこういうことができるなら使いたいということ】(P1の4(3))

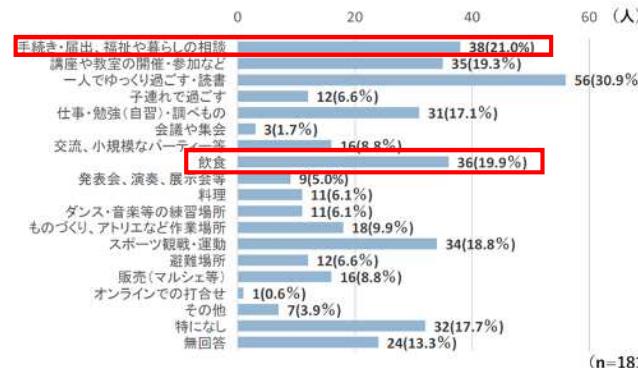
(全年代の状況)

- 4区合計では「一人でゆっくり過ごす・読書」が1番目、2番目が「講座や教室の開催・参加など」、3番目が「特になし」。
- 川崎区では「手続き・届出、福祉や暮らしの相談」が2番目、「飲食」が3番目、高津区では「手続き・届出、福祉や暮らしの相談」が3番目、麻生区では「特になし」が1番目。

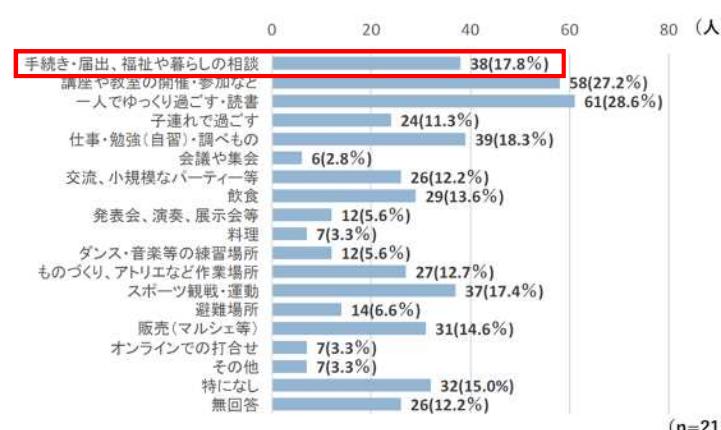
川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計



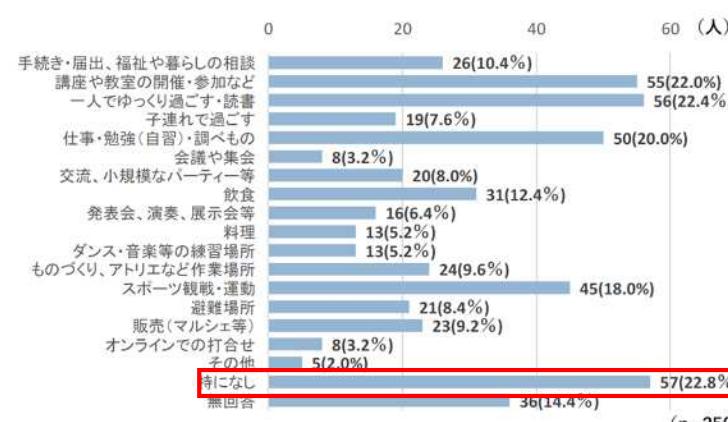
川崎区 こういうことができるなら使いたい



高津区 こういうことができるなら使いたい



麻生区 こういうことができるなら使いたい



「公共施設に関するアンケート」について

5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

○P1の4(2)及び(3)について、4区共通の設問であることから、**4区合計と区ごとの状況を把握。**

○P1の4(3)については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、**年代別の状況も把握。**

【利用していない施設でこういうことができるなら使いたいということ】(P1の4(3))

(年代別の状況) ※4区合計

- 「講座や教室の開催・参加など」は40～50代、60代以上の割合が10～30代よりも大きい。
- 「一人でゆっくり過ごす・読書」は10～30代、40～50代の割合が60代以上の割合の2倍上となっている。
- 年代が下がるほど、「子連れで過ごす」「仕事・勉強（自習）・調べもの」の割合が顕著に大きくなっている。
- 年代が上がるほど、「特になし」の割合が大きくなっている。

川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計【年代別の割合】

こういうことができるなら使いたい【年代別の割合】

